

L 5.441

67/14
C

一九四四年五月十日

○橋本誠吾は目下イタリヤの前線にて交戦中との御便りあり。主の御加護を仰に祈る。

いのり」と云ふものは天の父との
交通であつて、子が若し父を愛す

○山崎兄弟と靖子さんは愈々先週当りまでを引上げニカゴ陸由メリーランド州に向はれ、主の御加護のうちに安らぎを（？）思ふ目録地に着れし由群の皆様によろしくとありました。住所は
%Mr. E. A. Barron BX 53.
Acabrook, Maryland.

○夢々良り才居は先月ニエーヨー
ク州に向はれ適當なる勸告を得
らぬし由。

○南米の上田姉より來信、故上田兄に對し、當縣より、記念品として、英文の感恩謝状を寄せらるゝ惠の裡に、行過しの由、皆様にあぐまのしくとありました。

○山正命君より來信、現在は
カエサ又州傳の云其品に移され極
極習の云。死名は

392. James Thymelia.
393. 41925. Med. Bot. 71 St
Jagadgurung. A. P. O. 844
Camp Phillips, Karna
O. 41925. Med. Bot. 71 St

戲会の根柢賢慧を境と去る四月
 月とバツ祝宴所に於て末広指
 師司式の許に結婚式を挙げ
 られました。新家旗の上に主の堂

セクターを訪問されました。
御住いは 250X.13c.
Kensetsu, Cafe.

○マギーフォードの稲垣師は

○6Eの二村姉は御主君御帰

○山崎兄姊、出所記念

○葛原千秋師は10日の渡辺ケイと
嬢と去る三月にカゴ市に於て父君

信心に於ては、和はき、三、角、が、日、チ、ハ
さ、中、心、に、出、度、先、つ、テ、レ、バ、ー、の、イ、ス、ド

亦々事業を営み振られまう多
の困難を主に見せて候仰と愚

女と礼拝を構へた。石小僧は
ガラズドギヤクニョと訪問に向か
う。目上エテ、とておめ付ル。一ツ葉

(以下改号)

July 1944

THE PRAYER GROUP.

祈りの友

第五号
一四四年 七月発行

聖句

平爾昔がその試惑を耐忍こころを得んかために其にそへて逃るべき途を備へ給はん、コリント前二、十三

消息

未広牧師 ハートムホーネス
教会牧師なる同師は今日デニ大会終了後九日当所御訪問、四日間御滞在、中毎日群の爲に御用を務められ大なる恵みを残して十四日御帰任。

新里母貝一師 デニ大会の後御立寄り下さる、約二週御予定各方面に主の證人として御用なさる、皆主の御用を給はんことを。

宮本ドクター 聯盟教會會代表者として去る三日デニバ、會議へ御出席、十四日無事新里師御同伴御帰宅ありたり。

感謝録

葛原子一牧師夫人より
通常会計へ
藤原子一
通常会計へ
林勝栄兄より
通常会計へ
未広和一牧師より
仲川弥平兄より
御贈物に對し、御重なる御礼状をよせらる

長谷川龍代姉(旧姓、長谷愛部)より、贈りものに對し、御礼状を高くお褒めしたメリーランドへお移りの山崎靜姉より、群の皆様へよろしくと、御懇書を頂戴し、お褒めにあたり、御礼を申し上げます。

ミテスト欄

教會堂建繕費掛込み
現金現在高
一四二〇、四八

シカゴ御在任 仲川ジロウ兄姉より、出産記念として、月定及びタギス支拂の方へ、献金さる、謝して祝福を祈る。

暑中お見舞

遠いホールの初め、久轉任所外部に御活動中の比、白様、暑さのお偉りはございせんか、災禍の過ぎるまで、主の恵みに感謝し給はんことを祈ります。

軍の庭に立へる人

二村長、橋本兄、タツ良兄、葛原慶兄、末垣兄、瀬川兄、藤田安貝兄、尾崎兄、其他御入會の方々も多し有り、神の御憐れに、絶り、只、祈り求めます。

シカゴの葛原監督より、絶へず群の皆様の安否をおたね下さいます。

病床の友

飯田兄、永野姉、田畑姉、村上氏、准方も試みの表にて、主との交わりを御慰撫なされおます、金き、御癒しを祈ります。

八月、牧師は来る八月上旬、次、デンバー、モンテス、バーク、ラフ、ト、ラ、ギー、ホード方面へ訪問、傳道に赴ける、御予定、熱き御加護を願います。

御入會

藤田兄姉の御長男、西村様は、来る六月下旬、御入會。

家庭集會後報

六月一日夜、八尋牧師宅、司、藤原たき姉、(福司令) 衆、廿二名

八日夜、葛原主牧師宅、司、北勝田兄、獎勵、八尋牧師、衆、二十名

十五日夜、浜地姉宅、司、辻兄、獎勵、八尋牧師、衆、廿六名

廿二日夜、千田兄姉宅、獎勵、八尋牧師、衆、十七名

廿九日夜、村上兄姉宅、司、徳永兄、獎勵、八尋牧師、衆、十七名

集會、教、五回、衆、廿七名

七月七日夜、藤田兄姉宅、司、徳永兄、獎勵、八尋牧師、衆、九名

八日夜、橋本兄姉宅、司、林勝栄兄、獎勵、八尋牧師、衆、廿一名

未広和一牧師による集會、七月十日、朝、祈り會、辻兄姉宅、午後、辻兄姉宅

十日、朝、祈り會、大谷姉宅、午後、古田姉宅、辻兄姉宅

十日、朝、祈り會、林兄宅、午後、河崎姉宅

同日、同、河崎姉宅

新里師御迎會、御来所の同師歡迎會を、十五日夜、八尋牧師宅にて、集會する者廿名、由會の恵み、謝し、當所にて持たる、諸集會の爲準備の祈り、献けらる。

グラナダ
基督教會

週報

第七十一號

曠野之聲

一九四四 五一二
編輯 和田正彦
發行 高谷志加

子たる者よ 汝の主にありて
両親に従へ、これ正しき事
なり 汝ら父母を敬へ、然ら
ば汝幸福を得、また地の
上 壽長からん、エペソ六章

教會諸集會

聖日 五月十四日
◎早天祈禱會 午前六時
12H 7H 8K

南教會(4H) 五月十四日

◎聖書研究 午前九時
「信仰による義認」 山鹿牧師

母の日聯合禮拜式(4H)

午前九時五十分
司會者 水上牧師

前奏 五六六 山鹿夫人

主禱 三三四(115)

交誦文 四三七(72)

讚美歌 「アルコヒー」十三

聖書 感謝贈呈

頌榮 五六八

祝禱 聖歌隊

◎夕禱式 午後七時半
南教會(10H) 八尋牧師

◎北教會(7H) 水上牧師

◎祈禱會(十時) 午後七時半
南教會(10H) 山鹿牧師

◎北教會(7H) 原谷牧師

母を敬慕して

五八年ビラデルアのアナジス嬢が母を
記念し人間に對して神の最大賜物は母であ
ることを人々に宣傳して感謝記念集會を開
いたが遂に評判となり、時の大統領が之を公
制として今日に至るまで母の存命者は未
死した者は白のカーネーションを胸に飾り此
日を憶えて感謝記念の意を表するものである
古今東西を問はず母性愛を賞讃
して居るのであるが特に米国が此五月第三の
日を公定して記念日とし之が故に世間的となり
て記念するに至りしは宜なるかなと謂ふべき
である「何事も傷り多き世の中に子を思ふの
みは誠なりけり」曠野のききし夜、子と思
はぬ親はない母の心こそ人情稀薄、沙漠のや
うな現世に於けるなつかしい唯のオアシス
である。

ワシントンには妻に優るものあり母は母なり
ヘタロチは推遷を動かすは天下を動かすは貴
族された、それ博識は母を尊ぶるの理由として
一自分を生んで呉れた恩、養育して呉れた恩
三井トホを作つて呉れた恩、何ものにも優
る愛を與へて呉れた恩を擧げて感謝
を捧げて居る。女は弱しと云ふが母は強しと云ふ
がローエが母の愛は強し其心は弱しと云ふは
其弱きによりて遂に勝つて居るが故に取
吾人の胸を打つのはオガスチが「母の乳を神
を呑み込んだ」と云つて母を如何に篤信な
しかを賞讃し且つ感謝とある事である。昔
から聖人君子英雄學者等傑出して世に貢
献する、其背後には賢母の苦勞と様々ある
忘れはならぬ、母の愛こそは地上に於ける
最も純潔清美犧牲そのものである。

聖書に汝ら父母を敬へ、さらば幸福を得、又母
に壽長からん、と云ふは母より深く、牛よりも
高き親の恩愛を憶えて之が孝養を尽す事
は子として當然の義務であり、為すべき事は
これ程美し行為はない神も之を祝して幸福
を與へ長命を約束し給ふ。今戰場に在る將
兵定めて我母を偲び望郷の念禁する能は
ざるものがあらず、又愛児を戰場に送る世の
母の思ひや如何に、涙なきを得ぬ。吾人
多くは「孝行のした時は親はなし」で實
際現今さうした感を持つもの独り記者のみな
らば、母の恩を祈り且つ今から
でも遅はない子供に及ぶ信仰の親として覺
えらるゝ身たう事を期するのみ。(和田)

世の中に

思ひあれども子を戀ふる
おもひにまぎる
おもひなきかな 紀の貫之。

今週の家集會

- 山鹿牧師 12K 11K 10K (金)
- 八尋牧師 12K 11K 10K (金)
- 吉岡牧師 7K 8K (主)
- 原谷牧師 9H (金)
- 水上牧師 9K 8K 8K (金)

毎日正午十二時を期し各自
其所に於て平和の爲黙禱を
捧げる事とす。
グラナダ 基督教會一同

先週の集會出席数

- ◎早天祈禱會 二〇
- ◎聯合禮拜 一五五
- ◎夕禱南 二、北 二二
- ◎祈禱會南 二、北 一八
- ◎日曜學校 二六〇
- ◎青年禮拜 一三七

個人消息

- デキヤン師、シカゴ宣教師會出
席の爲に出發せられたり。
- ゲルト博士、日本の東北學院教授
として四十有余年、百の如く、若英に
尽力されたる先生、十日子未訪問と
して來車する由。
- 和留牧師、十日出発デンバートレ
ーキ經過ミネソタ訪問、二ヶ月の予
定にて旅行する由。

(正誤訂正)

先週代表者會に於て擧げられた
役員中書記宮本龍彦兄記
入誤に付追加す。
◎山崎吉助兄、羅府ダレスト教會員
たる同兄が入院療養中の如き八日
午前十一時四十五分永眠せらるゝ、百有
午後七時半分會堂にて通夜、十三
金午後時同會堂に於て葬儀執
行の由。

感謝錄

- 九記の方々に深く御礼申上ます。
- ◎志垣兄(ハ)教會掃除用として羽
刑を寄贈する。
- ◎森内家より教會(献金)
- ◎谷岡家より受洗記念として教會へ
- ◎バクタ阿部御家より出所記念として
教會へ
- ◎古勝平兄、信六年記念として教會へ
- ◎森元守義家より故母堂昇天記念
として教會へ
- ◎増田枝家より故父廿五年記念とし
て教會へ

CRANADA CHRISTIAN CHURCH
WEEKLY BULLETIN NO. 72



週報

第七十二號

曠野之聲

一九四四五一九
編輯 山鹿謙
發行 高谷志光

基督者修養

基督者が修養せねばならぬ事は今更ら曰ふまでもない。然しそれは世に言ふ所の鍛力の修練とか、道徳自らを潔ふするといふのではない。

基督者の修養の第一は祈禱である。神との靈交、對座である。之れなくしては我等の靈性は養はれない。かゝる喧騒極まりない、バラツクの生活に於ては祈禱を擱けらるゝ事屢々なるも當センターの東南隅の丘に祈りの聖所が設けられおる。空漠たる原野、天空を仰ぎつゝ、祈る自由の天地がある。

修養の第二は、聖書を靜讀する事である。之れは我等信者の靈的糧の本源である。少なく共一日一回御言葉の供給を受けなくては、我等の靈性は萎縮するを免れない。聖書は靈性の唯一の糧である。

第三の修養、實生活の中に信仰を織り込む事。生活即信仰、教會や書齋の信仰であつてはならぬ。汝等は地の塩である。然り、信者は世と人の腐敗を防ぎ、味付ける働きをする迄に至る様修養すべきである。

教會諸集會

聖日 五月三十一日

◎早天祈禱會
五月廿八日 午前六時

◎聖書研究 (四)
午前九時 山鹿牧師
午後七時半

◎夕拜式
午後七時半 山鹿牧師

◎南教會 (四)
水上牧師

◎北教會 (四)
原谷牧師

聯合禮拜式 (四) 午前九時半
司會者 原谷牧師

一 養 樂 小島夫人

一 頌 榮 會衆一同

一 主 禱 會衆一同

一 讚 美 歌 一四九 P. 37

一 交 誦 文 三篇 P. 115

一 祈 禱 牧 師

一 報 告 牧 師

一 聖 書 ルカ傳十章五-七

一 讚 美 歌 二七四 P. 52

一 說 教 吉岡牧師

一 頌 榮 原谷牧師

一 祝 禱 原谷牧師

◎祈禱會 (水曜、土曜) 午後七時半
南教會 (原谷野沢) 山鹿牧師
北教會 原谷牧師

◎家庭集會
山鹿牧師 9E 10E 11E
八尋牧師 9H 10H 11H
原谷牧師 9K 10K 11K
吉岡牧師 9L 10L 11L
水上牧師 9M 10M 11M

◎理事會 (婦人會) 二十日(土)
午後二時 土谷會長宅

△諸集會出席數
祈禱會 廿四 四十四 (10H 27H 23H)
早天祈禱會 (23H 25H 27H 29H 31H)
聖書研究會 八十八 (山鹿)

朝礼拜説教 二二九 (原谷) 母の日
夕礼拜説教 六十一 (4H 7H 34H)

毎日正午十二時を期し各自其所に於て平和のため黙禱を捧げる事とす。
グラナダ 基督教會一同

教會報

教會役員 部長及び部員

會長 山鹿 副會長 桑野 會計 原谷 書記 (宮本) スピーク 桑野

△傳道部長 水上牧師

△出版部長 和田牧師 副部長 高谷

△教育部長 山鹿牧師 副部長 桑野

△青年部長 桑野牧師 副部長 桑野

△財政部長 桑野牧師 副部長 桑野

△聯絡部長 山鹿牧師 副部長 桑野

△集會部長 水上牧師 副部長 桑野

△社會部長 桑野牧師 副部長 桑野

△婦人部長 吉岡牧師 副部長 桑野

△各部員 桑野 桑野 桑野

各教會代表者 (二十四名)

LA マリゲスト 赤松 野沢 山崎 湯水

LA ホリス 山崎 宮本 大倉

LA フリス 高谷 矢崎

LA クリス 三宅

LA バプテスト 三好

LA リンダ 桑野 桑野 桑野

LA エス (長老) 桑野 山本 三浦

LA エス (長老) 桑野 山本 三浦

LA エス (長老) 桑野 山本 三浦

LA エス (長老) 桑野 山本 三浦

THE CITY

filed
JMP



クラナダ
基督教會
週報
第七十三號

一四四五二六
F.M.事務所発行
編輯 小鹿讓
発行 高谷志加

「ペンテコステ」は第五十
を意味する語である。過越
祭より第五十日目即ち全七
週後に守らる、ユダヤの
二大農祭の一つに當るの
あつて、小麦收穫の祭日
ある。汝七週の節建即ち
秋の初穂の節建をなす。又
年の終蔵の節建をなすべし
爾後高き。此のユダヤの農祭
なるペンテコステの名が今日
特殊の靈感を基督教信者に与
ふるに至つた所以のもの
は

ペンテコステ(聖霊降臨日)

「ペンテコステ」は第五十
を意味する語である。過越
祭より第五十日目即ち全七
週後に守らる、ユダヤの
二大農祭の一つに當るの
あつて、小麦收穫の祭日
ある。汝七週の節建即ち
秋の初穂の節建をなす。又
年の終蔵の節建をなすべし
爾後高き。此のユダヤの農祭
なるペンテコステの名が今日
特殊の靈感を基督教信者に与
ふるに至つた所以のもの
は
基督教復活後のペンテコステ祭
日に於て使徒行傳二章の記
事に示さる、如く使徒を初
め弟子等の上に著しき聖霊
の降臨があり、弟子等は聖
霊に満ちた事によつて基督
教の歴史に新時代を畫する程
の大活躍が始められたのである
本年の復活祭は四月の九日
であつた。それから七週間後の
日曜日は丁度本日(今日)に當る
ある故に基督教者はこの日曜
日をホイツァーデー(WITNESS
DAY)とし、ペンテコステ聖霊
降臨日としてこの日を憶へ
ると同時に今日も尚ほ働き
給ふ聖霊を仰ぎ望み、新し
き能力に満ちた事を特に
祈る日となされておる。

世界

平和のために祈るべし
毎日正午十二時を期し各
自其所に於て平和のため
黙禱を捧げる事とす。
クラナダ基督教會一同

教會諸集會

聖日 五月二十八日
午前六時
早天祈禱會
RE RH 7H 8K

聖書研究 (RH)
「靈に導かる生活」
午前九時
山鹿牧師

夕拜式
南教會 (RH)
午後七時半
原谷牧師

「祈りの時」
北教會 (7H)
吉岡牧師

聯合禮拜式 (RH) 午前九時五分
司會者 吉岡牧師
奏樂 山鹿夫人
頌榮 五六六 (P. 111)
主禱 會衆一同
讚美歌 五五 (P. 15) 會衆一同
交讀文 二九 (P. 119) 〃
祈禱 〃
獻金 〃
報書 〃
聖唱 〃
頌榮 〃
祝禱 〃

新禱會 (水曜) 午後七時半
南教會 (RH) 八尋牧師
北教會 (7H) 水上牧師
家庭集會
八尋牧師 (RH) 9L
原谷牧師 (RH) 7H
吉岡牧師 (RH) 7H
水上牧師 (RH) 7H
會衆一同
「ペンテコステの靈能」
山鹿牧師

説教
諸集會出席者数
祈禱會 主司 三由 五五 五五 五五
早天祈禱會 主司 五五 五五 五五
聖書研究 十四 (小鹿)
夕拜説教 一九七 (吉岡)
夕拜説教 四九 (RH 三三 五五)
家庭集會 一〇六 (南面 北面 五五)
代表者會 (臨時)
来る二十九日(月) 午後七時半
104 會堂にて開會 代表者諸兄弟姉
の御出席を望む

教會報

◎傳道部集會、去る十八日(木)
77 事務所にて開會、水上部長
山鹿牧師及び部員出席、赤松
兄を副部長に高谷姉を書記に
舉ぐ

一特別傳道集會を六月中旬に開
く事、辨士としてネブラスカ州
スコッチブラフの加納久憲師招聘
交渉中。

一文書伝道月面伝道文書発行の件、
一牧師を他センターへ派遣の件、
一代表者會の開催を経て後決定

◎兒童夏期聖書學校、は当セン
ターの公立學校の夏期學校の一部
として開校するのです。本年は、日
白人教師も手揃ひであり、各課
目も多方面に亘り、夏期中の
兒童訓練には最も適當な機關
であります。有効に用ゐられま
す様、皆さまの御協力を願ひ、人
でも多くの兒童の入學を希望
いたしております。期間六月十三日よ
り向ふ八週間。

◎メソヂストグループでは去る日曜
日午後二時、77 會堂にて、神田賢
造兄及び鈴木牧師夫人と家族
の送別會を開く。

◎軍人家族訪問及び傳道、志
垣武次郎兄が着手せられ、軍人
家族を一々訪問しておられます。

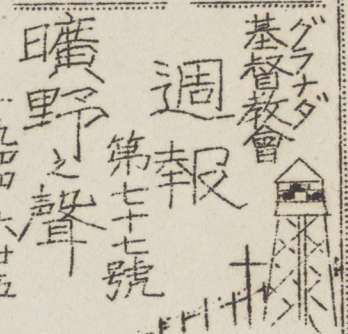
◎婦人會社會部集會、本日午
後二時より、77 會堂にて開會、部員
諸姉の御出席を望む。

感謝録

教會へ
出本久枝姉、七夫告別記念金一封
〇大所ツ木姉、故母千九周年記念
〇野田理恵姉、小生誕生記念
〇外村樹太郎兄、故母千九周年記念
〇小崎かつ子姉、父昇天記念

個人消息

〇八尋牧師、デンバー地方傳道
に出張する。
〇堀愛子姉、(前事務所書記)
于六日家族と共にデンバーへ移住。
〇山鹿牧師及び家族、ネブラダ州の
令息、訪問のため本月末、出発。
〇鶴津牧師、(ウィキフリード)二十
六日当所へ來訪する。
〇麻生牧師、(ペンステート)バスセン
ターより、当所教會に來任、去る
二十二日、ペンステート教會主催に
て歡迎會を催さる。



グラナダ
基督教會
週報
第七十七號
一九四四年六月廿五日
編輯 原谷牧師
發行 高谷志加

教會諸集會

- ◎ 聖書研究 午前九時
『福音者』 原谷牧師
- ◎ 朝拜聯合 午前九時半
『福音者』 原谷牧師
- ◎ 夕拜聯合 午後七時半
『福音者』 原谷牧師
- ◎ 早天祈禱會 午前六時
『福音者』 原谷牧師

- 聯合朝拜 午前九時五十分
『福音者』 原谷牧師
- 奏樂 榮五十六金衆一同
- 主の祈 全
- 文讀文 三十二、二六
- 讚美歌 五十五、五十五
- 聖書 五十六、五十六
- 祈禱 金
- 報金 告
- 讚美歌 三のり、バ、ド、七
- 説教 吉岡牧師
- 頌 栄 五十六
- 祝 禱

- ◎ 祈禱會 廿日(水)午後時半
- 南教會 10H 原谷牧師
- 北教會 7H 吉岡牧師

家庭集會

- ◎ 吉岡牧師 廿日(水) 7H 山崎氏宅
- ◎ 原谷牧師 廿日(水) 7H 山崎氏宅

即生書に於ける神の約束
神の約束は絶対的なり。天地は
是れを然と吾言は瘡なり。
また真理を知らん、而して真
理は汝らに自由を得ずべし。
約、ハノ三十二
「もし己の罪を言ひあらはさば
神は眞實にして正しければ我
らの罪を赦し、凡ての不義よ
り我らを潔め給はん」

- 一 聖書はみな神の感動によるも
のにして教誨と譴責と矯正と
義を宣明するに益あり、これ
神の人の全くなりて諸般の善
き業に備を全ふせん益なり。
テモテ後三十三、六十七
聖書中の美はしき箇所、
天地創造に關する記事
創世記 一
颶風の章 約百記 三十八
智慧の章 箴言 三
青年及び老年の章 傳道書 十二
天使活動の章
美しき河 イザヤ書 六
葡萄の樹の其枝 イゼキエル 四十七
燈台と橄欖の樹 約翰 十五
祝福の数々 ザカリヤ 四
キリストの降誕 馬拉 三
信賴 約翰 二
キリストの更生 路可 二十四
我は生命のパンなり 約翰 六
我は善き牧者なり 全 十
勇敢前進 ヨシヤ書 一
實際生活 ロマ書 二
愛の章 コリント前 十三
永遠の希望 全 十五
家庭生活 エペソ書 六
聖書中の偉人 希伯來 十一
兄弟愛 ヨハネ一書 三
新しきエルサレム 黙示録 二十一

FILE COPY

7 files

◎ ゼロームよりの同胞大歓迎
アマチ(天地)キャンパの全同
胞は此度ゼロームより來着さ
れました五百余名の同胞諸
氏を、心より歓迎申上ります。
此度の世界大戦余波を受
けお互に米全同胞は、年有
余以前に住みなれし我家を
立退き、急設キャンパに入り
數ヶ月の後には更に奥地に
移されました中には再三再
四と他に立退きを命ぜられ
轉々として移り渡られし方
方に對しては特に同情申
上る次第であります。
去る廿二日朝、当アマチキ
ャンパにアーカンソのゼロームより
はるく來着されし皆様を
當所の全同胞は心より御同情
以て御接待申し上げ居りました
此後は當所に落ち付かれ、
相互に助けつ助けられつ、來
る平和の日を待ちませう。
同下我グラナダ基督教會の
三名の牧師は年會に或は他
に旅行中にて來る七月十日前
後には歸られざる予定なれば
我教會の基督教徒の歡迎會
は其節に開催されんと存じ
ます。何れ其節は週報を以て
御案内申上ります。

- 先は三言歡迎の御挨拶、紙
上を以て申上ります。事務教
グラナダ基督教會一同 所會
- 世間平和の爲祈禱
毎日正午十二時を期して各自
の在り所にて右の爲に黙禱
を捧げます事とす
グラナダ基督教會一同
- ◎ 感謝 録
(金封) 昨の橋本龍三氏より教會
(寄附)
(同) 昨の山崎氏より兩教會(鏡
を一個)寄贈されました
何れも感謝
◎ 予 告
○ 山崎牧師よりの御通信によれば
アリゾナのバズ教會の天下牧師
が年會への途上來廿九日廿日に
當所を御訪問、七月三日迄滞在
の由なれば我教會では廿日(金)
七日の聖書朝の御説教を御聴す
らうと定

GRANADA CHRISTIAN CHURCH
WEEKLY BULLETIN NO. 78
週報 第七十八號
廣野之聲
一九四四年六月三十日
F.H.事務所発行
編輯 原谷若吉
発行 高谷志加

教會諸集會

七月二日 聖日
◎早天祈禱會 午前六時
及F.H. 7H. 8K. ホールニ於テ

◎聖書研究 10H 午前九時
『予言者エリヤ』 原谷牧師

◎朝拜聯合 午前九時半

◎夕拜聯合 午後七時半
『題未定』 奏博士

朝拜聯合 午前九時半
プログラム 10H 教會於テ
司會 吉岡牧師

奏樂 榮五六令衆一同
主の祈 全
交讀 文三 P. 二七
讚美歌 八五 P. 二七
聖書 金
報 告
讚美歌
說教 奏博士
『題未定』
祝禱

◎祈禱會 七月五日(水)
南教會 10H 午後七時半
司會者 馬削兄弟
北教會 7H
司會者 藤坂兄弟

◎吉岡、原谷の兩牧師は年會出席の爲兩師關係の家族集會は休み

聖書に於ける慰安の言葉
「汝等心を騒がすな、神を信じ、又我を信せよ、我父の家には住処多し、約十四、一、神は愛なり、約十四、十六、我れ平安を汝等に遺す、我れ平安を汝等に遺す、我が手ふるは世の手ふる如くならず、約十四、二十、凡てエホバを俟望むもの、確々しかれ、詩三十四、四、視よ、我は世の終まで常に汝らと偕にあるなり、馬太、二十、八、二十、

我れ汝を教へ汝を行むべき途の導き、我が目を汝に注めて諭さん、詩三十三、八、我は葡萄の樹、汝等は枝なり、人若し我に居り、我また彼に居らば多くの果を結ぶべし、約十五、一、五、

我れ汝等遺して孤子とせず、約十四、十八、エホバは心のけたるものを醫し其傷を包み給ふ、詩百四十七、一、三、エホバを呼ぶものにエホバ近くましますなり、

詩百四十五、十八、神は我が心の磐石、我が永遠の嗣業なり、

詩七十三、二十六、我れ諸の国より彼等を集め此処導き歸りて安然に居らしめん、耶利三十二、三十七、我は禾を刈り我に爲す能はざることをや、耶利三十二、三十七、汝の荷をエホバに託せよ、汝は汝を支へ給はん、詩五十六、二三、神は我等の避難所又力なり、詩四十六、一、

予告

◎新黒岩一師には来る七月早デーンバー市に來り彼地の御用を終り次第、馬アマチへ御傳道にお出かけ下さる由、當所數名の友人の許に通知がありました、何れ師による傳道プログラムは相談の上発表されます、

世界平和の爲の祈禱
毎正午十二時を期して各自の在る所に於て右の爲に黙禱を捧げる事とす、
グラナダ 基督教會一同

活動写真 すでに皆様御承知の我が教會、教育部主催の『キンゴ、オブキンゴズ』有名な此世界的大活動写真が来る二十九日、三十日及び七月一日の三日間、テリーホールに於て、午後八時より開催されます、之は全センターの皆様に於て、見えて頂きたいので、此三晩は我教會の家庭集會を中止致します、之は入場料なしで自由献金であります、

◎結婚 藤坂惣平夫妻次女、雪江嬢と原勲君とは、去る六月十四日、ニューヨーク市日本人メソヂスト教會に於て、赤松三郎牧師司式の許に目出度結婚されし由、お喜びを申上ます、新家庭の上に主の豊なる御祝福を祈上ます、

感謝録

◎在レカゴ市の藤生虎三兄より故障子姉一周年記念として金一封を教會に寄附せらる、

◎西尾俊夫氏、父君昇天記念として金一封を教會に寄附せらる、

何れも感謝す

一むくいをのぞき、ひとにあたへよ
こはまのかしこき、みむねならずや
水の上におちて、ながれたねも
いつこのきしにか、おひたつものを
二あさきこころもて、こころはからず
みむねのまにまに、ひたすはげめ
かせに折られしと、見えしわか木の
おもはぬこかげに、人もややさしく

7/4/44

GRANADA CHRISTIAN CHURCH
WEEKLY BULLETIN NO. 80
基督教會
週報
第八十號
一九四四年七月十四日
編輯 和田正彦
發行 高谷志加

教會諸集會

◎早天祈禱會 午前六時
12E 12H 7H 8K ホール

◎聖書研究 10H 午前九時
和岡牧師

◎聯合朝拜 10H 午前九時五十分
夕拜「湯淺博士講演」
別記の通り

聯合朝拜 午前九時五十分
10H 教會ニテ

奉樂 榮樂 五六六
主の祈 榮樂 五六六
交讀文 二八 (180)
讚美歌 五四 (14)
聖書 五
新金 告
報金 告
讚美歌 五〇八 (76)
說教 横井牧師
一未定
祝禱 榮 五六八

◎祈禱會 19日 午後七時半

南教會 10H 和田牧師
北教會 7H 吉岡牧師

世界平和の爲祈禱
過般デビーに開かれたる各派
代表者大合に於て世界平和
の爲に祈るべく満場一致に
決議 各自毎日此事に集中
祈る事
各派聯合基督教會

湯淺八郎博士の
特別講演
題「國際日本」
場所 テリホール
時日 七月十六日 午後七時半

先生は周知の如く京都帝大教授たりしが同志社大學の懇請によりて同大學の総長となつて其職に在りしが先年急用を帯びて渡米し、爾來組合教會本部の要職に帰朝すべかりしが在米同胞の境遇に同情を寄せられ非常時の苦樂を分かち、戦後の將來に資する覺悟を以て多方面に尽力されつゝある我等の恩人。來りて其高説を拜聴し且つ其人格に接せよ。

家庭集會

個人消息

◎セレット博士、フアザー北川師來訪講演 十日デニバーニ出發
◎湯淺博士八日朝來訪、タハ大久保氏方御滞在各方面ニ御講演中
◎未廣、横井、西牧師、永森兄、トムセンターより來訪、集會ニ於てそれより有力なるメッセージを與へられつゝあり。

◎島田牧師ト、バズの同師大會後來訪數日滞在祈禱會にて有力なる奨励を與へられたり。
◎関ハグスター、今回ミネドカセンター病院に轉任せられたり。

◎中川新太郎兄、入院中の同兄近來小康を得て感謝の裡にあり。
◎本間ダクター再入院療養中皆様に面會遠慮さるゝ由。

◎星宮兄姉令嬢、エタ嬢過般入院中の處最近小康を得て感謝されつゝあり。

◎岡田季姉、過般レカゴに出所皆様によろしく。

◎デンバー大會に出席中の泉谷吉岡西牧師、野沢夫妻、相乗宮本ダクター、土屋夫人、無事帰宅、尚水山牧師ハハート山へ山崎兄は旅行中。

◎山鹿牧師、今回メソジスト年會にてアイダホのツインホール在任、ミネドカセンター其他巡回さるゝ様、巡回教師の任命ありたる由。

主催 グラナダ基督教會

◎中村牧師、ゼロセンターに在りて二世の爲に有力なる働きをされた同師、今回の移動にて當センター特に三牧師として來住された事を吾人は満腔の感謝を以て歓迎す。
◎和田牧師、デニバーソトレキ、ミネドカ方面旅行中の同師、去七日無事帰任されたり。
◎云々七月四日八尋牧師より受洗された方々の芳名を、川崎文子、全正、全とし子、

◎太田美代夫人、南加ヒルクレストサントラムに於て療養中の處去七月四日午前八時遂に死亡さる。來十三日午後七時半より7H教會にて通夜、翌十四日金午後二時より同教會堂にて葬儀執行。

感謝錄

◎藤坂氏より息女結婚記念として婦人會へ
◎桐原猪、治より次男克入宮記念として教會へ。

◎六月分會計報告

收合計	五九一七六	夏期學校補助	
支合計	三九二八二		
差引金	一九八九四		
収入内訳			
繰越金	四四、七七	週報用紙	一三五四
目録金	六七、六九	週報金	二二〇〇
月約金	三九、三〇	募金	一〇、〇〇
特別寄附	四〇、三〇	事務所紙	三、〇〇
支出内訳		成川牧師謝礼	一五、〇〇
日校補助	三八、〇〇	本牧師謝礼	一五、〇〇
週報發行費	一〇、〇〇	ハミヤン	五、〇〇
牧師五名		ガラス板牧師招待	
謝礼	一五、〇〇	畫餐金費	四五七八
		雜費	五〇

GRANADA CHRISTIAN CHURCH
WEEKLY BULLETIN NO. 84
基督教會
週報
第廿四號
廣野之聲
一九四四年八月十一日
編輯 和田正彦
發行 高谷志加

教會諸集會

◎早天祈禱會 午前六時
10E 12H 7K ホール

◎聖書研究 午前九時
「暖室の葡萄」吉岡牧師
以弗所書の研究

聯合朝拜 午前九時半
7H 教令 ミニ

奏樂 和田牧師
山鹿夫人
五六六

主の祈 交讀文 三五 (114)
讚美歌 四七 (11)

聖書 代禱書

獻金 報告

讚美歌 三八 (26)
説教 原谷牧師

頌榮 五六八
祝禱

◎夕拜 午後七時半
南教會 八尋牧師

「時代の要求と神の要求」
北教會 和田牧師
「神と人に愛せられたり」

◎祈禱會 午後七時半
南教會 水上牧師
北教會 原谷牧師

世界平和の爲祈禱
各派代表者会に於
表記の祈禱を捧ぐ
る事とす
各派聯合基督教會

牧師馬場先生九十歳の誕辰を迎へるに當り祝意を表し、先生の思年譜を轉載す。(ホトトギス週報より)

安政三年八月十二日 肥後熊本に生る

明治元年平田子之七の塾に學ぶ年九歳

明治元年征東軍に従軍仙臺に向ふ年十三歳

明治二年肥後熊本濱武場に入る年十四歳

三年東京鎮臺兵として屯す年十五歳

四年熊本に歸る

五年東京遊學

八年單独北邊警備を企て成らず年十九歳

九年北海道行をやめ神風連志の後を追て熊本に歸る、全運動に參加せず

十年御眞影守護隊として官軍のための特種部隊として戦ふ

明治十一年熊本師範學校副幹事拜命

十二年横田憲備陸軍大尉(氏)の塾を經營す

十三年東京遊學、井上敬次郎同伴す

十三年朝鮮、臺岐、對馬巡遊す

十四年鹿児島島に遊び朝鮮に渡る

十五年東京遊學

渡米 三十二歳

廿一年十一月四日米國加州桑港上陸

廿一年加州農園働の元祖となる

廿二年加州桑港に實業會創立

廿三年労働組合組織

廿四年雜誌「遠征社」を發刊す

廿五年加州サンノゼ労働會議議長を務む

廿六年加州フレズノ農園に活躍

廿七年加州ワシントンビルアブトの林中にて神の聲に接する
信の動機となる

廿八年砂糖大根耕作サリナス地方

廿九年農園の宿屋經營、二十二年までワシントンに在る

廿二年青年會設立加州ストックトン市

廿三年加州アラメダ砂糖大根耕作

ボス同盟組織

廿四年加州オクスナードに移る

廿六年有名なるオクスナード労働會議に大會長として開いた勝を博す、大勝後首より爲行商の元祖となる

廿七年青年會、縣會設立、商店を始め

廿八年アイダホ州フルス砂糖大根園に働く

廿九年加州マンテンビニートメト耕作

四十一年木バタ州クインシー鐵道働及伐木

四十一年加州サンデー組合教會牧師代理

四十二年加州オクスナード教會牧師就任、教會堂建立、賭博撲滅断行、元祖となる

全 四十四年オクスナード日本語學園開校

全 四十五年結婚、年五十七歳

全 大正二年加州ブローリー教會牧師就任

全 三年オクスナード教會牧師

全 五年加州傳馬教會牧師

大正七年ルミエ教會牧師
全 九年オハヨ州神學學校
入學時六十六歳

全 十年全校研學

全 十年加州オクスナード教會牧師

昭和二年定年隠退年七十二歳

隱退後は自由空地に自給自足生活を送る

全 四年祖國訪問、四十二年自歸朝す

全 五年再渡米、爾後老駝を志す、神の國の爲に時を得るも得るも挽むるも福

音宣傳、聖靈に導かれつ

したが今十七年三月十八日

夫へきとき永眠せられ孤

独より、今十七年五月日

サンタニタに歸せ、七年九月

手五日、アマチ轉住所に入り

目下病院の室に静養中

今兄弟先生の御世話を

なして今十九年八月十日を以

て七十七歳誕生を迎へ、

神の祝福を感謝し居る

誕生祝

◎馬場先生九十歳の誕生

日を迎へるに付教會有

志、來十日(金)午後七時

病院の前庭に祝會舉行

納骨堂奉納式

◎かねて竣行中なり、同堂

落成、付來十五日午前

九時共同墓地に於て佛耶

兩教の式にて舉行

追悼紀念會

◎改山崎吉助氏百日追悼

紀念會、來十五日午後

七時半、教會に於て執行

個人消息

◎三村春子嫁事務所書

記として就任する事

◎八尋牧師、葛原牧師、大

婦、來十五日(金)シカゴへ

年會に赴かる

◎ミズキキヤン、外米人教師

は数日休暇にて旅行、他の

教師歸郷せらる

◎新里師より來信、皆様に

らく

感謝録

◎サクラメント並にサリナス長老
長老教會々員一同より金
一封を教會へ寄附せらる
◎沖勝兄より感謝献金